

健康 **子どもと高齢者の予防接種**
 健康増進課 ☎32-2069

予防接種は、子どもや高齢者を感染症から守るために大切なものです。予防接種にはそれぞれに適した年齢や時期があります。健康な時に、早めに接種してください。
 接種可能な医療機関など、詳しくはお問い合わせください。



子どもの予防接種 定期予防接種の種類 (対象年齢であれば無料)

予防接種名	対象年齢	接種回数
BCG	1歳になるまでの間	1回
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) ※第2期は二種混合 (ジフテリア・破傷風)	1期 生後3~90カ月 (7歳6カ月) 未満	4回
	2期 11~13歳未満	1回
麻しん (はしか) 風しん (MR)	1期 生後12~24カ月未満	1回
	2期 5歳~7歳未満であって小学校就学前の1年間	1回
日本脳炎 *1	1期 生後6~90カ月未満	3回
	2期 9~13歳未満	1回
ヒブワクチン	生後2~7カ月未満	4回
	生後7~12カ月未満	3回
	生後12~60カ月未満	1回
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2~7月に至るまで	4回
	生後7~12カ月未満	3回
	生後12~24カ月未満	2回
	生後24~60カ月未満	1回
B型肝炎ワクチン	1歳になるまでの間	3回
水痘 (水ぼうそう) ワクチン	生後12~36カ月未満	2回

*1 平成19年4月1日生まれ以前で20歳未満の人、および平成19年4月2日~平成21年10月1日生まれで9歳~13歳未満の人は、接種できなかった回数分を特例対象者として接種することができます

高齢者の予防接種 (高齢者肺炎球菌予防接種)

■予防接種法に基づく定期接種

対象 平成29年4月2日~平成30年4月1日までの期間に65、70、75、80、85、90、100歳になる人で市が実施する任意接種を受けていない人、または、60歳~64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人

接種費用 5,120円 (3,000円の助成後の自己負担額)

■市が実施する任意接種

対象 定期予防接種の対象年齢以外の70歳以上で、前回の肺炎球菌ワクチン接種から5年が経過し、市の助成制度を利用していない人

接種費用 各医療機関の接種料金から3,000円の助成額を引いた差額分

..... 共通項目

助成回数 1回 **助成期限** 平成30年3月31日(土)



医療費 **子ども医療費公費負担制度**
中学校卒業までの医療費の自己負担が無料に
 健康増進課 (津山すこやか・こどもセンター内) ☎32-2065

平成29年7月1日診療分から子ども医療費の制度を拡充し、小学生・中学生の外来診療の自己負担額が、1割負担から無料になります。
 これに伴い、資格者証が今お持ちのものから新しいものになります。0歳~中学3年生までの対象者全員へ、6月下旬に新しい資格者証を送付します (申請は不要です)。なお、7月1日を過ぎても新しい資格者証が届かない場合は、ご連絡ください。

(平成29年6月30日診療分まで)

対象	外来	入院	資格者証の色
小学校就学前	無料	無料	白色
小学生・中学生	1割負担	無料	黄色

(平成29年7月1日診療分から)

対象	外来	入院	資格者証の色
小学校就学前	無料	無料	白色
小学生・中学生	無料	無料	白色

健康 **特定健診・がん検診を受けましょう**
 健康増進課 ☎32-2069

市内の医療機関では、6月から特定健診・がん検診が始まります。また、津山すこやか・こどもセンターなどで行う集団健(検)診もあります。自分の健康状態を確認するために、ぜひ、受診してください。日程など、詳しくは広報津山6月号に折り込み予定の「平成29年度の健(検)診等のお知らせ」をご覧ください。なお、特定健診受診券・がん無料クーポン券の対象者へは、5月下旬に個別通知します。

平成29年度の健(検)診

年齢：平成30年4月1日現在

対象	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	75歳~
男女とも			特定健診=40~74歳の津山市国民健康保険加入者				高齢者健診=75歳以上の人(後期高齢者医療制度の加入者)
	肝炎ウイルス検診(B・C型、C型のみ)=40歳以上で、今まで肝炎ウイルス検診を受けたことがない人						
	胃がん(胃部エックス線)・結核・肺がん・大腸がん検診=40歳以上の人 ※変更①⇒ 胃がん検診(胃内視鏡)=50歳以上(2年に1回、偶数年齢)						
女性			子宮頸がん検診=20歳以上の女性				
			※変更②⇒ 乳がん検査(視触診のみ)=40歳以上の女性(偶数年齢) 乳がん検診(視触診・マンモグラフィ併用)=41歳以上の女性(奇数年齢)				
男性			前立腺がん検診=50~69歳の男性				

※平成29年度からの主な変更内容

- ①50歳以上の方は、2年に1回、胃内視鏡検査を受けることができるようになりました(胃部エックス線検査の選択も可)
- ②乳がん検査の対象年齢が、視触診のみは40歳以上、乳がん検診(視触診・マンモグラフィ併用)は上限が無くなりました

病気の予防や早期発見のため、特定健診を受けましょう



特定健診マスコットキャラクター ハレルン